

平成26年度 上越市音楽部 活動報告

部長 高倉 芳行

1 上越市音楽教育研究会の実践的研修内容

・上越市内77校の音楽主任によって組織し、下記の実践的な研究等に取り組んだ。

(1) 合唱指導講習会の実施

- ① ねらい クラスの合唱に生かすため、発声や指揮、具体的な指導法等の研修を行う。
- ② 期 日 平成26年6月6日(金) 13:15~16:45
- ③ 会 場 ユートピアくびき希望館
- ④ 内 容 ・小学校の歌唱授業の指導法(モデル 上越市立高田西小学校第5学年)
・小学校合唱部の指導法(モデル 上越市立大町小学校合唱部)
・中学校の歌唱授業の指導法(モデル 大島中学校第3学年)
・中学校合唱部の指導法(モデル 上越市立直江津東中学校合唱部
上越市立春日中学校合唱部)
- ⑤ 講 師 富澤 裕 先生(合唱指揮者)、蓮沼 勇一 先生(私立暁星小学校教諭)
- ⑥ 参加者 77名

(2) 第43回上越市小・中学校合同音楽祭

- ①期 日 平成26年11月5日(水)、6日(木)、7日(金)の午前・午後、全6ステージ
- ②会 場 上越文化会館
- ③参加者 市内全小・中学校77校の児童生徒約4,500人
- ④運営等 ・音楽指導の実践を通じた研修とし、企画・運営も当会員が行った。
・自校の発表とともに、他校の演奏についてのメッセージを書き交換した。
・「上越市教育を考える月間(11月)」の取組として公開し、各ステージとも200人を超える家庭、地域の方々の来場があった。

2 上越市学校教育研究会音楽部研修

(1) 研究テーマ「音楽のよさを感じ取り、音楽表現を高め合う授業をめざして」

・児童生徒が音楽の構成要素の働きが生み出す音楽の特徴やよさなどを感じ取り、それを
抛り所とし、仲間と協同的に表現を追求し感動することのできる音楽授業の在り方を探る。

(2) 期 日 平成26年11月12日(水)会場：上越市立国府小学校、上越市立三和中学校

(3) 音楽部会研修の内容

【小学校部会】 第1学年 授業者 上越市立国府小学校 教諭 石口 一美

- ① 題 材 名 「もこちゃんのおんがく」をつくろう～ことばのリズムをつかって～
- ② 本時のねらい(本時4/5) 【共通事項】 拍の流れ リズム 問いと答え
・「問いと答え」を生かして、拍の流れにのって、様々な言葉のリズムをつくる。

【小学校部会】 第3学年 授業者 上越市立国府小学校 教諭 館岡 牧子

- ① 題 材 名 声で表現「国府の町」
- ② 本時のねらい(本時3/6) 【共通事項】 音色 強弱 反復・変化
・選んだ場所に合ったオノマトペの声の出し方や組み合わせ方を工夫して、「国府の
町のオノマトペ」の音楽をつくる。

【中学校部会】 第2学年 授業者 上越市立三和中学校 教諭 中村 奈見子

- ① 題 材 名 リズム・アンサンブルをつくろう
- ② 本時のねらい(本時3/4) 【共通事項】 リズム 音色 テクスチャ
・リズムや音色、テクスチャを工夫して、より表現したいイメージに合ったリズム・
アンサンブルをつくる。

3 成果と課題

合唱指導講習会では、新たに中学校普通学級の指導を設定した。毎年同じ指導者である
が、参加者のニーズに応える講習会となっている。市小中学校合同音楽祭は、児童生徒
の生き生きとした発表や鑑賞のマナーもよく、メッセージカードの交換は、自校の演奏
の充実感につながっている。音楽部研修では、生活科や総合的な学習の活動との関連、
キーワード(まねっこ[反復]など)やアイデアシートの活用、グループでの学び合い
などによって音楽的な意欲の喚起や表現を高め合う姿が見られた。今後は、感受したこ
とと知覚すべき音楽的な事実との結びつきを実感できる場の設定を工夫する。

